



いつの間にか蝉の声が聞こえ始め、季節はすっかり夏です。沢山遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかりと休息を取りながら、暑い夏を元気に乗り切りましょう。

青空の下のびのびと過ごしている子ども達は、水にもすっかり慣れ夏ならではのプールや水遊びを思う存分楽しんでいます。水いぼやとびひなどの皮膚トラブル、中耳炎、鼻水などはなるべく早く治療して、毎日元気に水遊びが楽しめるの良いですね。

ご家庭でも規則正しい生活に心掛け、健康管理には十分配慮して毎日元気に登園してほしいと思います。

<行事予定>

- 8/1 (火) 給食会議
- 4 (金) 調理師健康管理
- 5 (土) 登山「青葉山」 雨天中止
(すみれ組、すみれ組卒園児親子)
- 7 (月) 遊具点検
- 9 (水) かんでんファミリー劇場
みんなでうたおう! パワーウィズハート
名作劇場「ももたろう」
- 10 (木)
- 11 (土) } お盆
- 15 (火) } 遊具補修工事
- 16 (水) 任意保育
- 17 (木) 避難訓練
- 21 (月) 身体測定(赤、白組)
遊具点検
- 22 (火) 身体測定(黄、青、すみれ組)
- 23 (水) 大飯中ふれあい交流学習(~24日)
- 25 (金) 誕生会、職員会議
- 26 (土) 清掃消毒日(青組)

☆16日(金)の任意保育は、お仕事の都合でご家庭で保育できない場合 4日(金)までに申し込んで下さい。

おかず入りのお弁当が必要になります。

『保育目標』

『清潔に心がけよう』



○プール活動が始まっています。特に衛生管理に気をつけ、下記のことなどにチェックしてみてください。

- ★ 爪を切る。
- ★ 毎日入浴・シャンプーをする。
- ★ 耳掃除をする。
- ★ 鼻汁が出たらかむ。(続く場合耳鼻科へ)
- ★ 皮膚病の治療は早めに。(水いぼ・とびひ)
- ★ 女児の長髪は飾りのないゴムでしっかり束ねる。
- ★ 衣服は洗濯した清潔なものを着る。

< 職員研修 >

8月8日(火)

* 「特別支援教育研修」

於 福井県立大学 松宮 亜子



【お礼】



7月8日、9日に行われました4歳児の合宿では、保護者の皆様のご協力により、無事終わることが出来ました。ありがとうございました。

お家の方と離れての“お泊まり”にワクワク、ドキドキだった子ども達は、この経験を通してひとまわり大きくなった様に感じます。

【家庭連絡とお願い】



- * 毎週月曜日に清潔検査を行っています。手足の爪はもちろん、入浴やシャンプーをして、身のまわりを清潔にしてください。
- * 汗をかき衣服を着替えることが多くなります。名前がない服や持ち物が多くあり迷子になっている物もあります。すべての物に記名して下さい。又、自分で着脱できるものにして下さい。
- * 皮膚病・しらみなどの発生を予防するためにも清潔に心がけて下さい。皮膚病のひとつに、手足の傷や虫刺されの後などに細菌が入り、水泡が出来たり、赤く腫れて汁が出たり、汁がついて広がる「とびひ」があります。感染力が強いため気がついたら、早めに皮膚科で治療して下さい。
- * 暑い日が続くと、エアコンの効いた涼しい部屋で過ごすことが多くなり気づかないうちに身体が冷え切ってしまう事があります。大人も子どもも【だるい】【寝不足】【食欲不振】などの不調を訴えることが多くなってきます。時々エアコンを切り、外気を入れるなどの温度調節をして冷えすぎに注意しましょう。
- * お休みの日は海へ行ったり、出かけたりすることが多くなると思いますが、子ども達は思っている以上に疲れやすくデリケートです。無理のないように休息を十分取り、子どもに合わせた生活をして下さい。体調がすぐれない、朝から微熱があるなどの場合、園で十分な活動ができません。健康な状態で元気に登園できるようにして下さい。

《熱中症に気をつけよう》



不規則な生活が続くと体力が落ち、体の抵抗力が弱って熱中症になりやすくなり、風邪をひきやすくなります。栄養バランスの良い食事と十分な睡眠がとれるようにして下さい。

【予防法】

- * 水分を多く含む食事や、定期的な水分補給を心掛けましょう。
- * 熱のこもらない衣服を選んだり日光を遮る帽子などを身に付け、熱や日差しから守りましょう。
- * 子ども達は地表からの熱を受けやすいので、地面の熱にも気をつけましょう。
- * 暑い環境に置き去りにしないようにしましょう。特に車内は危険です。
- * 室内遊びも油断しないように、屋外と同じ対策を意識しましょう。
- * 暑さや体調の不調をまだ自分の言葉で十分に伝える事ができません。汗や体温、顔色や泣き方など周りの大人が気にかけてみましょう。

夏に多い風邪や皮膚疾患

- 手足口病 手と足と口にブツブツができるウイルス性の感染症です。
- ヘルパンギーナ のどにできるぶつぶつがとても痛くて、飲食しづらくなります。高熱になる事も多く数日は休む必要があります。これもウイルスによるものです。
- プール熱 アデノウイルスによる感染症で、咽頭炎と結膜炎がおきます。喉の痛み、高熱、目やにか特徴。感染力が強くと一週間ほどの休養が必要です。症状がなくなってから2日は様子を見ましょう。
- 溶連菌感染症 主に発熱と喉の腫れが起きます。また、咳や頭痛、腹痛、イチゴのように舌にブツブツができるイチゴ舌、体に淡い紅斑が出るなどの症状が現れることもあります。
- 流行性角結膜炎 潜伏期間は1~2週間で、急に発症します。結膜の充血やかゆみ、異物感、涙がでる目やに、まぶたの腫れなどが現れます。感染力が非常に強いのが特徴です。
- とびひ 皮膚の細菌感染です。あせもや虫刺されの所をひっかくと起きやすくなります。抗生物質での治療(内服と外用)が必要です。
- 水いぼ ウイルスによる皮膚感染症です。プールで肌を接触させるとうつすこともあります。

☆子ども達の健康状態に気を配りながら、楽しく夏を過ごしてください。☆

